

ニューズレター No.100

発行人 谷川 裕稔

2017(平成 29)年 10 月 25 日発行

日本リメディアル教育学会、ニューズレターNo.100をお届けいたします。今回は、

- (1) 新会長の挨拶
- (2) 第 10 回関西支部大会開催案内
- (3) 英語部会共催行事開催案内
- (4) 第 3 回北海道支部大会開催案内
- (5) 第 6 回 関東・甲信支部大会
- (6) 役員の担当

についてお知らせいたします。

新会長の挨拶

このたび第 4 代会長を拝命いたしました谷川裕稔です。微力ではございますが、歴代会長のご功績に感謝しつつ、学会の発展のために力を尽くす所存です。行き届かない点が多々あるかと存じます。会員の皆様方のご支援・ご協力をいただけましたら幸甚です。よろしくお願い申し上げます。

第 10 回 関西支部大会開催案内

第 10 回関西支部大会を 2017 年 10 月 28 日(土)に滋賀大学彦根キャンパスで開催します。今回は、会員が出版された書籍を取りあげ書評会を開催します。

テーマ: 小川洋会員『消えゆく限界大学—私立大学定員割れの構造—』(白水社、2017 年)の書評会

<http://www.hakusuisha.co.jp/book/b253052.html>

会場: 滋賀大学 彦根キャンパス 校舎棟 1 階 2 番教室

〒522-8522 滋賀県彦根市馬場 1-1-1

JR 彦根駅からスクールバス(所要時間 約 8 分、片道 100 円)

行き 10:10、11:00、12:00、12:30

帰り 17:03、18:05、18:37、19:30

日時: 2017 年 10 月 28 日(土) 12:30-16:30

プログラム:

12:30 受付開始

13:00-14:30 基調講演

小川洋会員「消えゆく限界大学—私立大学定員割れの構造—」

14:30-15:00 休憩

15:00-16:30 書評・意見交換

司会: 児玉英明

<講演要旨>

最近、「Fラン大学」という言葉を見聞きすることが増えた。言外に、「入学に競争がない大学には意味がない」と言っているように聞こえる。しかし大学の存在理由は、良質な教育活動と研究活動が行われていることであり、入学に競争があるかないかは別問題である。

18 歳人口の減少過程に入る来年度以降、入学競争は全般に低下することが予想され、実質的に競争試験の成り立たない大学が増加していくことは確実である。さらに専門職業大学(仮称)の構想が具体化されれば、大学の内実を欠く中小私大は、大学に「昇格」する専門学校と競合する数多の学校のなかに埋没し、その相当数は消えていかざるをえないだろう。

若年人口が減少するなかで学生を確保し、存続可能な大学としてあり続けるには、その内実を充実させるしかない。入学志願者(高校生)が魅力を感じる大学であるためには何が必要か、定員割れが深刻化し、衰退の一途をたどっているように見える一部の大学に見られる病理の検討を通じて、その条件を考えてみたい。

<略歴>

小川 洋(おがわよう)会員

1948 年東京生まれ。日本リメディアル教育学会・前学習支援部会長。早稲田大学第一文学部を卒業後、埼玉県立高校教諭(社会科・地歴科)として勤務。並行して、国立教育研究所(現・国立教育政策研究所)研究協力者として日本の高校教育とアメリカやカナダの中等教育との比較をテーマに研究。その後、私立大学に移り、教職課程担当の教員として十数年勤務した。著書に『なぜ公立高校はダメになったのか』(亜紀書房、2000 年)、共訳書に『ロッキーの麓の学校から——第二次世界大戦中の日系カナダ人収容所の学校教育』(東信堂、2011 年)など。

申込方法:

参加を希望される方は10月27日(金)までに、「名前」「所属」を明記の上、hideakikodama@kpu.ac.jp 児玉英明(京都三大学教養教育研究・推進機構)までメールしてください。

なお、今年度の関西支部大会は、2017年10月と2018年3月の2回開催を予定しています。2018年3月の第11回関西支部大会は個人研究発表および会員が出版された書籍を取りあげ書評会を開催します。日時・会場は3月下旬で調整中です。個人研究発表については、2017年11月に募集する予定です。

英語部会共催行事案内

2017年10月29日(日)に日本リメディアル教育学会英語部会が共催する行事(主催:国際教育研究所)が開催されます。テーマは「やる気を引き出す工夫と英語授業の改善—自律学習につながるアクティブラーニング—」です。

定員は50名で、定員になり次第締め切りとなります。ご関心がおありの方はお早めにお申込ください。

テーマ: やる気を引き出す工夫と英語授業の改善—自律学習につながるアクティブラーニング—

会場: 公益財団法人日本英語検定協会 B館1階会議室
〒162-8055 東京都新宿区横寺町55

日時: 2017年10月29日(日)10:00~17:00

プログラム:

9:30~	受付
10:10~12:20	第1部 講演会・授業実践発表
12:20~13:30	ランチタイム
13:30~17:00	第2部 シンポジウム

第1部(10:10~12:20) 講演会・授業実践発表

総合司会: 斎藤 裕紀恵(早稲田大学非常勤講師)

【講演】

「意欲を引き出す英語表現活動と学習者主体の指導の工夫—4技能の連動性を活かした英語を使う授業実践例—」

鈴木政浩(西武文理大学)

【授業実践発表】

「英語基礎レベル学生を自律した学生に育てる授業改善の実践」

国立音楽大学教授 中西千春

中央大学特任助教 安藤香織

(ランチタイム 12:20~13:30)

第2部(13:30~17:00) 探求型英語教育を取り入れた新しい発想の提言とシンポジウム「自律学習につながるやる気を引き出す工夫と英語の授業改善」

司会: 白石よしえ(近畿大学准教授)

提言者: 赤塚裕哉(早稲田大学本庄高等学院教諭・早稲田大学情報教育研究所研究員)

登壇者:

勝又美智雄(国際教養大学名誉教授)

鈴木政浩(西武文理大学准教授)

中西 千春(国立音楽大学教授)

安藤 香織(中央大学特任助教)

赤塚裕哉(早稲田大学本庄高等学院教諭・

早稲田大学情報教育研究所研究員)

若林陽子(千葉県立長生高校常勤講師)

主催: 国際教育研究所(羽鳥博愛 東京学芸大学名誉教授主催)

共催: 日本リメディアル教育学会英語部会

後援: 公益財団法人 日本英語検定協会

参加費: 2,000円(学生は1,000円)*資料代込

参加費は当日支払いとなります

定員: 50名 定員になり次第締め切りとなります。参加資格は問いません。

申込先: <https://senseiportal.com/events/40833>

第3回 北海道支部総会・支部大会案内

2017年11月11日(土)に北海道支部会におきまして総会・支部大会を開催いたします。

今回は、教育の質保証、高大接続・入試改革、学習支援など、現在の大学教育における重要な課題について、何人かの先生に、実践事例や自大学の取組状況などを話題提供していただきます。これらの発表を踏まえて、意見交換並びに各大学の取組の進捗につ

いて情報共有を行うことができればと思います。予稿集や報告集などの発行は予定しておりません。

また、後半では、北星学園大学のラーニング・コモンズの見学の時間を設けさせていただきます。各大学の学習支援環境の整備について情報交換ができればと考えております。

会場: 北星学園大学

〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西 2-3-1

<http://www.hokusei.ac.jp/access>

日時: 2017 年 11 月 11 日(土)13:30~17:00

プログラム:

13:30~14:00 受付

14:00~15:30 ラウンドテーブル

話題提供者: 小松川 浩(千歳科学技術大学)

塚越 久美子(北海道科学大学)

中嶋 輝明(北星学園大学)

15:40~16:20 ラーニング・コモンズ見学

16:30~16:50 総会

17:00 閉会

18:00 情報交換会

(進行によっては若干時間が変更になる場合があります)

申込方法:

参加予定の方は、11 月 2 日(木)までに以下の要領で電子メールにてお申し込みください。

件名: JADE 北海道参加申し込み

宛先: tnaka@hokusei.ac.jp

本文(申し込み事項)

(1)参加者氏名および所属

※学会員以外の方をお連れいただく場合には、その方の氏名と所属もあわせてお知らせください。

(2)情報交換会(参加/不参加)

※学会員以外の方をお連れいただく場合には、その方の参加/不参加もあわせてお知らせください。

問い合わせ先:

中嶋 輝明

北星学園大学文学部 共通科目部門

〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西 2-3-1

Phone: 011-891-2751(内線 1314)

Fax: 011-896-7660

E-mail: tnaka@hokusei.ac.jp

第 6 回 関東・甲信支部大会案内

会場: 高崎経済大学

〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町 1300

日時: 2018 年 2 月 9 日(金)10:00~17:00

プログラム:

10:00~12:00 午前の部 講演会

大森昭生 氏(共愛学園前橋国際大学学長)

13:00~17:00 午後の部

受付(名札・予稿集の配布)

開会式・総会 研究発表会

(研究発表 15 分 + 質疑応答 5 分)

名刺交換会

【講演】

大森昭生 氏(共愛学園前橋国際大学学長)による講演(演題は未定)。共愛学園前橋国際大学におけるさまざまな大学改革の取り組みと 2018 年 問題や高大接続改革と対峙しなければならないこれからの大学教育の展望についてお話しいたします。なお、詳しいプログラムの公開は 1 月を予定しています。

参加費: 無料。「参加申込フォーム」よりお申し込みいただければ当日名札をご用意いたします。

企業展示: 賛助会員は無料。非会員企業は 5,000 円。

(会場で賛助会員になっていただくことも可能です)

参加申込フォーム: <https://goo.gl/forms/09WdAomyjwVlK7W92>

申込締切: 一般参加:2018 年 2 月 2 日(金)

研究発表:2017 年 12 月 15 日(金)

(予稿集原稿は 2018 年 1 月 9 日(火)にご提出いただきます)

問い合わせ先:

上記「参加申込フォーム」または高松正毅 takamas@tcue.ac.jp までお願いします。

役員の担当

本学会の役員の役割分担が以下のように決定いたしましたのでお知らせいたします。

執行部

会長:	谷川 裕稔
副会長:	佐藤 尚子, 高松 正毅, 矢島 彰
事務局長:	小野田 正之助

理事

秋山 英治、今井 順一、江原 由裕、大野 早苗、
小野田 正之助、鞍掛 哲治、加藤 竜哉、河住 有希子、
佐藤 尚子、鈴木 政浩、高松 正毅、田島 ますみ、
谷川 裕稔、塚越 久美子、中園 篤典、中山 誠一、
西 誠、野崎 浩成、馬場 眞知子、濱田 陽、廣田 有里、
藤田 大雪、矢島 彰、湯川 治敏

各種委員長

編集委員会:	長尾 佳代子
将来構想委員会:	谷川 裕稔
国際交流委員会:	未定
全国大会企画委員会:	中園 篤典
全国大会現地実行委員会:	望月 雅光
支部・専門部会委員会:	高松 正毅
研究活性化委員会:	矢島 彰
選挙管理委員会:	秋山 英治

支部長・専門部会長

北海道:	未定
東北:	加藤 竜哉
関東・甲信:	未定
東海・北陸:	未定
関西:	児玉 英明
中国・四国:	上岡 義典
九州・沖縄:	未定
英語:	未定
日本語:	佐藤 尚子
理数系:	西 誠
学習支援:	石毛 弓
ICT 活用教育:	仲道 雅輝

コミュニケーション能力開発: 未定

教職協働: 不在・会長代行

学校教育: 未定

特別学習支援: 未定

学習言語: 不在・会長代行

医療系: 岡田 弥生

会誌への論文等の投稿について

会誌『リメディアル教育研究』では、リメディアル教育に関する研究、教材や教授法の開発と評価、実践の報告などについての原稿を募集します。投稿は本会の会員が筆頭者であるものに限り（編集委員会が特に認めた場合は、非会員からの論文等を掲載することもあります）。掲載の採否は、査読審査を経たのち、編集委員会において決定します。原稿料の支払い、掲載料の徴収はいたしません。

編集後記

8月の総会で理事を拝命した藤田大雪と申します。寺田貢・前会長に代わり、今号からニューズレターの執筆を担当することになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

【文責】藤田 大雪